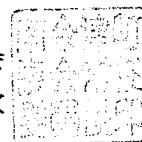




30 議委第51号
平成30年11月21日

南会津町議会
議長 五十嵐 司 様

南会津町議会文教厚生委員会
委員長 楠 正 次



委員会調査報告書

本委員会所管事務調査事件について、調査の結果を別紙のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

調査事件 学校訪問（田島中学校・桧沢小学校）、

- ・複式学級の現状と課題について（小学校のみ）
- ・道徳教科について
- ・教科書等の重量について
- ・部活動の状況について（中学校のみ）
- ・更衣室の現状について（中学校のみ）
- ・レッドリーフ運動の取り組みについて（中学校のみ）
- ・その他学校からの要望について

施設の現状調査（旧檜沢中学校・奥会津博物館）

調査日時 平成30年10月4日 午前10時から 田島中学校
午後1時30分から 桧沢小学校・旧檜沢中学校
午後3時30分から 奥会津博物館

出席者 楠 正次委員長、大桃 英樹副委員長、渡部 訓正委員、高野 精一委員、
星 登志一委員、室井 嘉吉委員

対応者 田島中学校 馬場 俊忠校長、穴戸 直樹教頭
桧沢小学校 酒井 央校長

随行員 議会事務局 渡部浩一主査

場 所 田島中学校 校長室・桧沢小学校 校長室・旧檜沢中学校・奥会津博物館

◆調査（学校訪問）

【田島中学校の現状】

・道徳教科について

道徳の教科化は、平成31年度から会津地域共通の教科書を使用します。授業の内容に変化はないものと考えているが、評価は道徳の授業時間内での理解度や表現力などを参考にして、記述式の記事評価をするため先生の負担は多くなります。

・教科書等の重量について

登校時に通学カバン（教科書入り）の重量を測定したところ、7～8キログラムありました。部活動用品を含めると10キロ程度になります。置き勉（教科書等を教室の自席に置く事）は主要科目外教科が主で学年ごとに決めています。

・部活動の状況について

運動部活動の状況は、部によって入部の偏りがあり、部員不足で大会の参加が困難の部は他の部から部員を借りて大会参加します。また他校と連携して合同チームで出場するなど工夫をしている現況です。平日1日および土曜日・日曜日のいずれかをノー部活デイとしています。

- ・更衣室の現状について

更衣室の使用状況は体育や運動部活動時に使用しているが、制服の下にハーフパンツやジャージを着ており、着替えるというよりは上着を取り外すという行為なので、現在のところ生徒からも保護者からも教室に設置等要望はありませんでした。

- ・レッドリーフ運動の取り組みについて

レッドリーフ運動は生徒会と先生方と相談の結果、「いじめはある」ことを前提に平成29年3学期に「いじめ撲滅宣言」をしました。学校の中だけでなくスマホやタブレットなどのSNS上にもあるためそれらに対してもしっかりと意識付けを行っています。

- ・その他学校からの要望について

田島中学校からの要望は学校周囲および中庭の樹木が大きくなりすぎて不安であり、今年の台風で太い枝が折れて危険な状況になりました。冬期間は除雪の際も駐車場周囲に樹木がなければ効率的な除雪が出来るので考えていただきたいとのことです。

3階の教室は1階と比較すると3度高いので冷房設置を要望されています。

【桧沢小学校の現状】

- ・複式学級の現状と課題について

複式学級の現状と課題は、現在3・4年生および5・6年生が複式学級となっています。

複式学級のメリットは先輩児童の姿勢等を間近に見て学ぶことができるので、学びの手本を見習い成長します。さらに間接的指導により主体性が育まれ、上級生は低学年の授業が自然に入り、振り返りができます。

問題点は少人数で序列ができ固定化してしまう事が心配されますが、複式解消のために教員が増員されているため、道徳・体育・総合学習は複式で授業をしています。他の授業は2学年分準備が必要になり、教諭の負担が増えますが完全複式の授業は少ないのが現状です。

- ・道徳教科について

桧沢小学校では、2年前に福島県道徳教育指定校となり、南会津郡内では先進的な取り組みをしています。評価は道徳授業時間内の事柄で評価をします。相手の考えを聞き、理解した上で自分の考えを話し、意見として書かせることで評価をして文章で児童や家庭に伝えます。

・その他学校からの要望について

電子黒板は毎日使用しており、インターネットにも接続されとても便利です。

特別支援学級には知的障がい児3名、情緒不安児童2名で計5名は児童全体数の11%ですが、通常学級にも多動、自閉とみられる児童が8名います。今年度は支援員1名の配置ですがもう1名配置して欲しいとのことです。

◆調査（施設の現状調査）

【旧檜沢中学校】

特別支援学校候補予定地となっていることから、現状について確認しました。

旧檜沢中学校の跡地、施設を調査してネズミなどの痕跡があり、またゴミが多く散見されました。床材の盛り上がりなど多く見られましたが、これらは雨漏りの影響と思います。

【奥会津博物館】

奥会津博物館の古民家群の状況は、茅葺き屋根の谷地形（直角に交わり所）の部分の茅が水の浸水で相当傷みが見えました。猪股家の茅葺き屋根は損傷が著しく、屋内から空が見える状況です。一度に全葺き替えは財源確保等が困難であると感じました。

調査事件 学校訪問（館岩小学校・館岩中学校）

- ・複式学級の現状と課題について（小学校のみ）
- ・道徳教科について
- ・教科書等の重量について
- ・部活動の状況について（中学校のみ）
- ・更衣室の現状について（中学校のみ）
- ・その他学校からの要望について

調査日時 平成30年10月10日 午前10時から 館岩小学校

午後1時30分から 館岩中学校

出席者 楠 正次委員長、大桃 英樹副委員長、渡部 訓正委員、高野 精一委員、
星 登志一委員、室井 嘉吉委員

応対者 館岩小学校 渡邊 貴彦校長・星 徹教頭
館岩中学校 菊池 博基校長・園部 毅教頭

随行員 議会事務局 渡部浩一

場 所 館岩小学校 校長室

◆調査

【館岩小学校の現状】

・複式学級について

複式学級の基準は、2つの学年を合わせた児童数が16人以下（1学年を含む場合は8人以下）となる場合、複式学級となります。

現状では3・4年生が該当しますが教職員加配置により単式で授業しています。

来年度は新入生が1名の予定なので複式に該当しますが、単式の方が実力がつくと館岩小学校では考えています。先生も複式経験者が少ないので研修も必要です。

・道徳教科について

学校内で授業研究を年1回実施して先生が全体で研究しています。道徳だけでなく英語の授業も含め、年35時間授業時間が増加します。

ともに考えることで、児童に考えることを習慣づけ、ペアグループ学習の中で児童に考えをまとめる能力がどのくらい伸びたかを、ワークシートに毎学期書き留めて、成果を客観的に評価して3学期末に文章にまとめて保護者に通知します。

・学校からの要望等

- ・）複式対応のため教員の加配をお願いしたい。
- ・）床の塗装が剥離しているので修繕して欲しい。
- ・）体育館の窓があかない作りなので自然の空気が流れるように改修をお願いしたい。

- ・) 教室の窓に網戸を設置して夏場の涼しい環境整備をお願いしたい。
- ・) 教職員住宅のトイレがくみ取り式なので改修してほしい。

【館岩中学校の現状】

・道徳教科化について

今年度、南会津郡の道徳教育推進校に指定されました。道徳授業の工夫で今年度は全学年で11月12日に公開授業として道徳の授業参観を行ない、来年からの教科化に備えます。現職教員で「道徳」の実践教育を行ない、テーマは「他者と共により良く生きることを学ぶ道徳教育。～自ら考え学び合う授業づくり～・自己を見つめる・多角的、多面的に考える」としています。

今年度は移行期間ですが、道徳の評価を前期と後期2回実施をして保護者に知らせます。

思いやりの心、助け合い、感謝する生徒の育成にビブリオバトルの実践をしています。

道徳の教科化は授業時間内での行動や考え方、理解度および発表などを記録して、文章で評価します。

・教科書等の重量について

調査期間は9月5日、9月7日、9月10日に背負いカバンおよびサブバッグの重量測定をしました。

計測日	平均重量	マックス重量
9月5日(水)	9.6キロ	15.4キロ
9月7日(金)	10.4キロ	15.8キロ
9月11日(月)	10.5キロ	15.5キロ

実技教科書等は各自学級ロッカーに保管しています。

・部活動の状況について

男子常設部・野球、卓球部 女子常設部・バレーボール、卓球部

	野球	バレー	卓球(男子)	卓球(女子)
1年生	1	2	4	3
2年生	4	5	4	0
3年生	2	2	7	3
合計	7	9	15	6

野球部は単独でのチームは編成できず、他校との混合チーム編成で大会出場しています。

・更衣室の現状について

登校時は制服の下にハーフパンツ・ジャージ等着用しており、教室で制服を外すという

対応をしていますが、生徒・保護者からの更衣室設置等の要望は現在のところありません。

- ・学校からの要望等

- ・) 施設関係では多目的ホールおよび学習室天井部の経年劣化粉塵落下防止対策。
- ・) PC 質ブラインド設置・) 学習室暖房・) 体育館壁修繕等の要望。
- ・) 教職員住宅の新築。
- ・) 保健室のエアコン設置。
- ・) 体育館照明の LED 化。
- ・) 職員室照明の LED 化。
- ・) 落雪により破損の体育館外扉修繕。
- ・) PC 室にブラインド設置。
- ・) 学習室暖房。
- ・) 体育館壁修繕。

- ・その他

少子化で中学校も複式の可能性が有り不安です。

町からの支援でゴルフ教室が開催出来、生徒たちは芝生の美しさ、難しさと楽しさに感動しています。3回の教室ですが2回3回目は18ホール回れるように頑張っています。

冬はスキー・スノボ教室の開催で郷土愛を育む自然環境学習を開催しています。

◆所見

・複式学級の現状と課題について

複式授業について桧沢・館岩の両小学校での説明を聞き、特に複式学級のデメリットを感じることはありませんでした。

桧沢小学校は、特別支援学級に5名が在籍しており、発達障がい（多動症、自閉症）と思われる児童も通常学級に8名います。当事保護者の理解とその他保護者および児童の理解も重要と思います。

「いじめ」につながる事のないように学校・家庭・地域の三位一体での共通理解とサポートが必要と考えます。

館岩小学校は平成31年度に1・2年生が複式学級になることが想定されます。

新入生が複式での授業を受けることは、教諭も児童も負担が多くなりすぎるのではないかと心配です。

今後も少子化は継続して行くので幼稚園・小学校・中学校の教職員の減少を考えて中・長期的な学校経営方針および教職員住宅の在り方を示す必要があると考えます。

・教科書等の重量について

中学生の通学鞆が重すぎるとの指摘があり、調査の結果、田島・館岩の両中学校共に部活用サブバッグを含むと概ね10キロです。

成長期の生徒が背負うのに適した重さは体重の15%という専門家もいます。

腰痛や肩こりを起こし、血流も悪くなり集中力も落ちて、成績も落ちる可能性が指摘されていますので、さらなる調査・研究が必要と思います。

・部活動の状況について

部活動の状況は生徒の選択に偏りがあり、大会参加が困難な部もありますが一時的に他の運動部から借りてチーム編成をしています。

また町内の他校との合同参加も実施しており生徒たちの協調性や自立心などが培われるというメリットもあると思います。

・更衣室の現状について（中学校のみ）

いずれの学校も、現状のままで問題はないとの調査結果でしたが、着替えをするマナーを学生のうちに教育していくことも必要であると考えます。

今後の社会情勢や生徒の動向を見守りながら、対応について研究していく必要があります。

・その他学校からの要望について

電子黒板は毎日使用しており、インターネットに接続されており、学習等に活用されて

いることから、非常に効果的です。館岩中学校では説明資料が準備されており、要望箇所等も具体的で解りやすい対応と感じました。

田島中学校は創立100年以上経過しており、学校周囲の記念樹およびその他の樹木等が老木となり、さらに根回りの舗装等で根張りが弱まり倒木の危険性が心配されます。

倒れた場合は近隣の民家などに甚大な被害となることが想定されます。

9月の台風で大木の太い枝が折れましたが町道を通行中の車両等に被害がなく本当によかったと思います。

判例によると樹木の倒木被害は木の所有者に賠償責任が問われるケースがほとんどです。

教育財産・公有財産の樹木安全管理（伐倒）などが喫緊の課題と思います。

田島中学校の駐車場・体育館周りおよび中庭の樹木は安全検査をした上で、危険樹木は伐採撤去するべきものと考えます。

館岩小学校では、体育館の窓が開けられないため、夏は非常に高温になるので換気等で外気の流入経路が必要と感じました。

館岩中学校の学習室天井は経年劣化により、粉塵が自然落下し続けています。

石綿ではありませんが生徒が毎日使用するため、健康被害が心配されますので早急に修繕が必要と考えます。

それぞれの学校が老朽化しており、各学校とも修繕要望が多くあります。

修繕内容を精査した上で、一般財源で対応するものと、事業債充当可能な修繕に分けて対応すべきと考えます。

温暖化の影響により教室の室温が高くなっている、扇風機では効果は得にくい現状です。

雪を利用した冷房はランニングコストの低さは実証されていますので検討すべきと考えます。

・旧檜沢中学校の現状について

特別支援学校設置候補地の旧檜沢中学校は想像以上に老朽化がひどく、修繕で開校が可能か、新設費用と修繕費用の比較検討、調査が必要です。新設された特別支援学校の視察研修も必要と思います。

・奥会津博物館（古民家群）の現状について

奥会津博物館の文化財、茅葺き屋根の保存管理は困難を要していると感じました。

丸葺きでなく4面または2面に分けて定期的な補修計画を立てて継続していかないと、修繕費用が嵩み結果割高になると考えます。